

はじめに：パラ・スポーツが今、注目されています。パラ・スポーツは、障がいのある方々がスポーツ活動に参加し、競技を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに国民の障がいに対する理解を進め、障がい者の社会参加の推進に寄与することに大きな意義があります。特に、本連盟は、知的障がい者が自立・自律をめざし、多様な支援者の力を借りながら生涯にわたって自己充実とよりよく生きようと挑戦する生き方をスポーツ（フットソフトボール競技）活動を通じて発信していきたいと考え、広報誌「かわら版」を発行することにしました。年齢・世代及び障がいの有無に関係なく多くの皆様のご理解・ご協力及びご意見を期待しております。



いちご一会とちぎ大会
第22回 全国障害者スポーツ大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

🌟(お知らせ)競技団体名称変更「日本知的障がい者フットソフトボール連盟」(令和4年4月1日施行)🌟

1 第22回全国障害者スポーツ大会いちご一会とちぎ大会：令和4年10月29日（土）・30日（日）

- ・会場：足利市総合運動場公式野球場（ジェットブラックフラワーズスタジアム）及び足利市総合運動場軟式野球場（エコアールグリーン球場）。参加チームは、岩手県、東京都、福井県、和歌山県、愛媛県、熊本県及び地元栃木県の7チームが参加。
- ・荒天及びコロナ禍による中止により4年振りとなる全国大会の開催に選手・指導者は、充実の時を満喫できたとの感想がありました。試合は白熱した試合が見られ、特に、地元栃木県チームが強豪熊本県チームを破るなど活躍し第3位になりました。観戦・応援された栃木県知事福田富一さんは大いに喜ばれたことと思います。このことは、今後の栃木県パラスポーツ振興・チームの継続に貢献できる契機になると信じています。
- ・優勝：東京都チーム。準優勝：愛媛県チーム。ただ、参加チームの中には仕事でメンバーが揃わなかったり、体調が整わなかったりしたチームがあったようです。
- ・本大会の広報、若年者を含む観戦や応援、選手の活躍を紹介する情報ツールの見える化、感動の記録や障がいの県民や市民への理解促進はどのようであったのかは情報が希薄であった気がする。



（第3位と健闘した栃木県チーム）

2 (お知らせ)日本知的障がい者フットソフトボール連盟活動紹介(各地の活動状況)

- ・九州地区：令和4年10月9日（日）佐賀県において、熊本県チームとお互いの強化を兼ねて定期戦を開催したとの情報がありました。佐賀県ソフトボール協会の審判員が2年後の本大会を目指して精力的に審判員研修を進めておられ、令和4年11月20日（日）には審判員講習会を予定しておられます。
- ・関東地区：埼玉県では予てフット競技の審判員講習会開催を熱望しておられるところ、来年度、関東地区のブロック予選会引き受けもあり、日程調整して講習会開催を実現したいと動かれています。
- ・九州地区：宮崎県では、令和4年7月全国障害者スポーツ大会開催の内定を受けられたことを契機に、フットソフトボール競技の練習会場整備ができなかと模索しておられるとの情報に接しています。
- ・北海道・東北地区：青森県では4年後の大会開催を目指して審判員講習会を模索中。競技力向上の協力は、岩手県チームが申し出ています。

3 きらり!「人・チーム」紹介 (この情報は、大下利男さん本人と事務局からによるものです)。

- ・(北信越・東海地区：大下利男さん:福井県) 1951年福井県生まれ。福井県内の県立高等学校教員及び養護学校(現在の特別支援学校)教頭として勤務した後退官。幼少時から各種スポーツに取組み(野球、ボクシング、少林寺拳法)インターハイや国体、全日本大会に出場するなどスポーツ万能であった。教員としてはバスケットボール競技やソフトボール競技の監督を務められるとともに多数の競技の指導者資格を取得するなどスポーツリーダーとして指導の分野で活躍された。
- ・さらに障がい者スポーツ指導員資格も取得して障害のある生徒のスポーツ指導を専門性に立って関わられてきた。こうしたことから全国障害者福井大会のフットソフトボール競技のチーム設立・強化に先導的中核的に関わり、現在の福井県チームの生みの親となられる。
- ・フットソフトボール競技振興のために、自身が所属しておられる福井県ソフトボール協会をフット競技の支援に仕向けるつなぎ役として、また、障がい者フットソフトボール競技選手権大会敦賀大会に当たって、粘り強く調整していただくなど、コロナ禍で2年連続して中止が続いた大会開催に尽力いただきました。
- ・現在は、福井県ソフトボール協会副会長としてフット競技のチームを福井県内に増やし、フット競技の普及と発展(組織的取組)に全力を挙げたいとの構想を練っておられる様子です。

※ この記事を基に、もっと広げたり、つながったりすることが大切です。大下さんへの連絡先は事務局まで。

4 パラスポーツ、フットソフトボールについてのお問い合わせ、ご相談は・・・日本知的障がい者フットソフトボール連盟まで

〒747-1221 山口市鑄銭司10812番地1 社会福祉法人りがくえん 気付 (担当：内山之彦、三枝啓巳)
TEL 083-986-2054 E-mail ruri-ne1@c-able.ne.jp (内山之彦)
FAX 083-986-2469 E-mail ruri-jy1@c-able.ne.jp (三枝啓巳)